

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すくすく		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 11日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年 9月 11日		～ 2024年 9月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	最大定員7名の少人数で、ご利用者様それぞれのペースで個性を伸ばしながらありのままに居られるアットホームな事業所です。ご利用者様とスタッフとの距離も近く、家庭のような環境の中で日々を過ごし、自己肯定感を高めつつ成長していくことを大切にしています。スタッフ全員が勤務年数10年以上、これまで培ってきた経験とチームワークも強みのひとつです。	ご利用者様、ご家族様と密なコミュニケーションを取りお子様それぞれの得意なことを尊重しながら、支援の中で社会的なコミュニケーションの能力と日常生活動作を向上させ、プログラムの中にはパソコンを使って絵日記作成や文書作成を行っております。将来的には就労して自立した生活を送れるようになることを見据えた支援に努めております。ご利用者様にとって第二の家になれるように、リラックスして過ごせるよう職員日常生活の中で必要なマナー、コミュニケーション能力を身につけられる関わりを心掛けた支援を職員全員で行っております。	個別課題や集団療育を通して、健康な身体づくりと基本的な生活習慣の習得を促進し、個々の可能性をさらに引き出していく、そんな支援をしていきたいと考え、日々の業務に励んで参ります。安心してお子様を預けられる場所、元気に成長していける場所であるよう努めます。

2	車いすのお子様の受け入れを行っている。	車いすに乗ったまま乗車していただける福祉車両を保有しております。事業所の場所は2階でエレベーターやリフトは建物の構造上取り付けるのは難しいですが、職員が細心の注意を払ってお子様を2階までお連れさせていただいております。	活動時間も簡易ベッドで過ごしていただくなどできるだけご負担がないように考えております。簡易ベッドを増やし、車いすのお子様も居心地のいい環境づくりを考え整えてまいりたいと思います。
3	夏休みなど学校がお休みの日にはおでかけをする機会を多く設けている。	学校終了後のご利用時には地域のスーパーなどにお買い物に行き、好きなおやつを選んでレジでお金を支払ったりしております。また長期休みには工場見学やカラオケや映画など外出をし、楽しみながら社会的なコミュニケーション能力をつけることのできる機会と将来的には自立した生活を送れることを見据えた療育を身につけられるような機会を多く設けております。	お子様の意見、ご家族様の意見を取り入れ、お子様ひとりひとりが持つ個性を大切にしながら、社会勉強や自立した生活を将来的に見据えた経験を楽しんでもらいながら行う。日常生活で必要とされるマナーやコミュニケーション能力を身につけてきちんとサポートできるよう職員同士がしっかりと話し合いご家族様と密に連絡を取り合い計画的に支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるので車いすのご利用者様の昇降が大変。	建物の構造上の問題、エレベーター設置などバリアフリー化するのは難しい。	構造上難しいができるだけ安心安全にご利用して頂くためその都度工夫し2人体制で階段昇降するなど工夫していく。
2	PTやOTやSTの専門職がない。	専門とは異なる将来に向けての支援の提供を考えているため。	ご家族様より要望があれば、職員が社外の研修に参加をし、専門的な知識を習得していく。
3	1フロアなので個別対応が難しい。	建物の構造の問題で、個室を設備するのは難しい。	カーテンを使用して仕切りを作り個室に近い環境づくりを行う。